

JPM 新興国インフラ株式ファンド

J.P.Morgan
Asset Management

格付：**C-4**



新興国のインフラ関連株およびその預託証券に投資を行う投資信託です。

属性 **投資信託**

対象 **新興国のインフラ関連株等**

利回り **3.09%**

概要

インド、ブラジル、ロシア、メキシコ、中国などの新興国のインフラ関連株およびその預託証券を主要投資対象として運用を行い、信託財産の中長期的な成長を目指す。3月、9月決算。

リスク

流動リスク:	N/A
価格リスク:	基準価格
為替リスク:	CNY ほか
信用リスク:	N/A
その他:	N/A

※N/Aは、該当なし (not applicable)

運用元： JPMorgan Asset Management株式会社

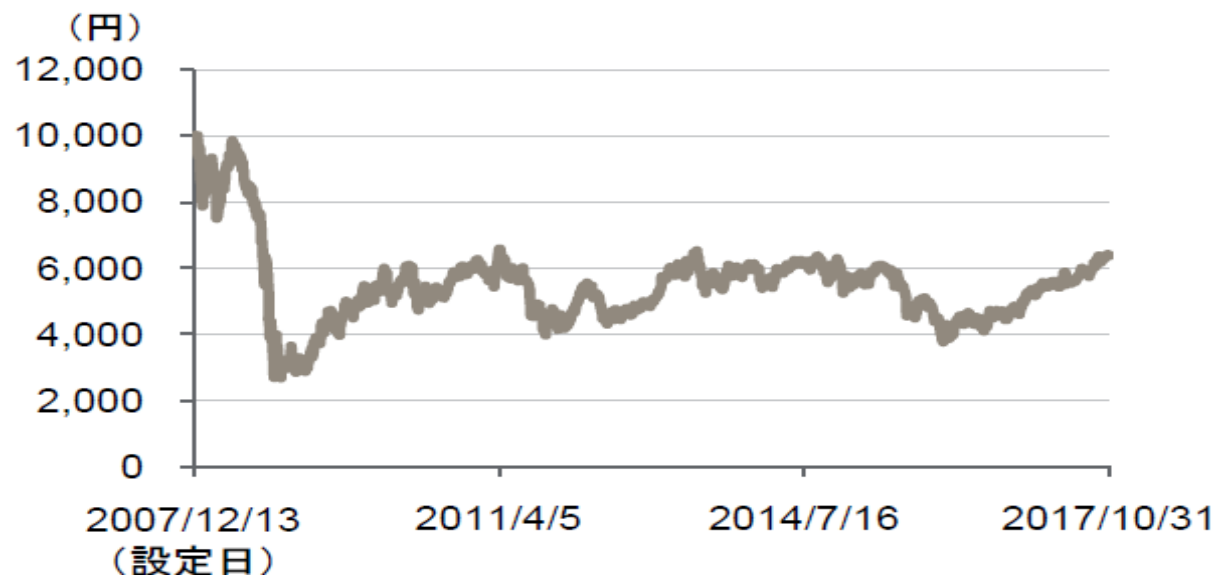
Web: <https://www.jpmanasset.co.jp>

所在地： 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
東京ビルディング

Summary

10月前半は、中国で良好な経済指標が発表されたことや、中国人民銀行が一定の条件を満たした銀行の預金準備率を引き下げたことに加え、IMF（国際通貨基金）が世界経済の成長見通しを上方修正し世界景気の拡大傾向が確認されたことなどを背景に大きく上昇。新興国株式市場の代表的な指標であるMSCIEマージング・マーケット・インデックスは前月末比+3.8%となり、新興国のインフラ関連株式では、特にエネルギーセクターや資本財セクターが大きく上昇する結果であった。本投資信託では、世界経済の着実な成長が続く中で新興国企業の収益の改善が多くのセクターに波及し、堅調に続く限り、新興国株式市場のパフォーマンスが先進国市場を上回る可能性は十分にあると予想。北朝鮮を巡る地政学リスクなど、新興国を含む世界的なリスクは依然としてあり、引き続き注視が必要としながらも、新興国市場の力強い回復基調が持続するとし、引き続き新興国におけるインフラ関連株等の中から相対的、絶対的、また、勢いなどを勘案し銘柄選択を行っていくとしている。以上のことから、本投資信託のリターン面を「C-」、リスクを「4」と判断する。

設定来の基準価額(税引前分配金再投資)の推移



Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。